

映像酔い：ウェブにおける話題の分析

鶴飼一彦

早稲田大学 理工学部

1. はじめに

著者は、映像の生体影響調査研究というプロジェクトにかかわっている。映像酔いも大きな研究課題であると思っている。先日、ある関係者に「映像酔いという言葉はあるが、一部の極めて敏感な人のみがかかるのか、症状もたいしたことにはないように思うが、被害と呼べるほどの実態があるのか」と聞かれた。確かに、こちらから映像酔いの経験があるかと尋ねれば、かなりの人からあるという答が返ってくるが、自分からそれを話題にする人は多くない。以下はその問いに対する答えには不十分かもしれないが、自発的に映像酔いを話題にしているケースの有無とその内容をウェブページを検索することによって調査してみた。内容に科学性はないかも知れないが、「さろん」として話題の提供にはなると思い、結果をまとめておく。

2. 方法

2002年8月14日に検索サイト"http://www.excite.co.jp"に「映像酔い」の4文字を記入して「ウェブ」検索を行い、リストされた56件の内容を分析、内容別にまとめた。なお、件数の持つ意味を知るために、同じ手法で「乗物酔い」を検索すると897件（ただし、約半数は防止薬関連）が表示されることを記しておく。検索エンジンの結果は、対象語を含む4行ほどと、リンク先が記される。実際にリンク先の文章をチェックし、内容がわかる程度の分量をコピーした。このうちリンク先が見つからない、あるいはリンク先はあるが日記風で別の内容に変わってしまったため検索された内容が見つからない項が4件あった。これらは検索エンジンで表示され

た4行から内容の判断できるもの2件は解析対象とし、判断できない2件は内容不明とした。

分析は、本調査がおおまかな傾向をとらえるためのものであり、厳密さには欠ける。その点をあらかじめ承知しておいていただきたい。コピーした文のファイルは保管してある。

3. 結果

まず、「リンク切れなどのため内容不明：2件」、掲示板既検出スレッドへのリプライでの引用やミラーサイトを検索したのか内容が同一という「重複：2件（のべでは4件）」、「研究会報告、研究内容：2件」、「陶酔感を酔いと表現したと思われるもの：1件」、以上7件を除外すると、残った対象は49件となる。

劇場映画あるいはDVDによる映画で作品名を具体的に上げて映像酔いを生じたとするもの（酔いそうになった、映像酔いしやすい人は酔うだろう、という表現を含む）から列挙すると、「ブレイクウィッチプロジェクト：10件（うち1件は酔いやすいと聞いていたが酔わなかった）」、「ダンサーインザダーク：5件（1件は酔いやすいという伝聞）」、「バタフライ：1件」、「シンドラーのリスト：1件」、「スピード2：1件」、「リリィ・シュシュのすべて：1件」、「追撃者：1件」、「ロゼッタ：1件」、「LIES／嘘：1件」、「マニアク2001：1件」、「ディープ・ブルー：1件」、「マトリックス：1件」、「映画試写会作品不明：1件」、「屋久島の環境や文化について紹介した25分ほどの短編映画（大スクリーン）：1件」となる。さらに、「音楽DVD：2件」、「3Dゲーム：3件」が続く。表1に3Dゲームによる映像酔いに関するスレッドの標題を示す。内容はともかく、話題の対象はうかがうことができよ

う。また、一般に公開はされていないと思われる「災害救助ビデオ（ストーム時にヘリから撮影したぶれの大きい映像，ヨット乗りでも酔うと記載）：1件」，「手ぶれが激しいしろうと映像：2件」が続く。

以下は，テーマパークである。ただし，これらのアトラクションは映像のみなのか，実際に加速度が加わるのかは確認していない。あくまでも本人が映像酔いと記載したものである。「USJ／バック・トゥ・ザ・フューチャー・ザ・ライド：2件」，「USJ／ターミネーター：1件」，「富士急ハイランド／ガンダム・ザ・ライド（実際の揺れ

あり）：1件」，「ディズニーランド／スターツアーズへの言及：1件」。

さらに，技術解說的に「ぶれ：2件」，「こま落ち：1件」，「コマ送り：1件」，「スピード感：1件」により映像酔いは起きやすいとの記述があった。

そして，映画は好きだけど自分は映像酔いを起こしやすいのであまり見ない，などの「自分が映像酔いを起こしやすい体質：6件（うち1件は映像酔いは嫌いだという表現）」という記載があった。また逆に「コンピュータで気持ち悪くなったときの様子を＜映像酔いのような症状＞

表1 ある掲示板での，3D酔いに関するスレッドの標題部。

3D酔い マムル 2002/05/18 19:02:01
ト友人の話ですが、 T.O 2002/05/18 20:56:35
| ↳バーチャロンで・・・さんぐりあ 2002/05/18 21:03:52
ト私はオメガブーストで酔いました。 鬼無知 2002/05/18 21:40:09
| ↳オメガブーストは砂の星のステージがキツか... SO 2002/05/18 21:47:58
ト「F-ZERO」で酔って吐きました… VAI 2002/05/18 21:46:09
ト64のマリオではきそうになりました T 使いになりたいと思っているもの 2002/05/18 22:11:38
ト私はロックマンDASHで酔いましたよ……。 RAGNAROK軍曹 2002/05/18 22:20:56
| ↳DASH…アレは確かに酔いますな…自分は最初... 竜也 2002/05/18 23:23:12
| ↳DELETED RAGNAROK軍曹 2002/05/18 23:38:02 (削除)
ト酔ったゲームといえば 99@ZERO 2002/05/18 22:37:03
ト思いっきり酔うゲームと手法。 GENTEN 2002/05/18 23:10:56
トあー。 Taka2@無謀なるエンジェ慰撫使い 2002/05/18 23:35:18
ト実例では戦闘機等の運動性が高い航空機パイ... じゃぐ 2002/05/18 23:36:33
ト酔うといたらバイオのガンハザード! spooky 2002/05/19 00:52:44
トコマ数が多いからでは 86M 2002/05/19 01:11:48
| ↳間違ってたらすみませんが、SS版OMGは30フレ... PSYCHO 2002/05/20 12:46:53
| ↳SS版はおっしゃる通り30です(泣)。 86M 2002/05/21 15:51:38
ト僕もそうです フロスティ 2002/05/19 02:18:19
トトゥームレイダーはキマすた。 CONSCON 2002/05/19 03:12:00
ト一括レスですみませんが、皆さんレスどうも... マムル 2002/05/19 09:14:34
ト遅レス。 YU 2002/05/19 12:30:24
ト64のゴールデンアイはかなり酔いますよ こんる 2002/05/19 15:46:17
↳アフターバーナー(Ⅱ)で酔いました。黄昏 J/C @テムF「嵐の勲」 2002/05/20 12:31:31

<http://www2.sega.co.jp/bbs/article/v/vituaalon/187/ijzwpypfhyhc.html> より。
検索に使用した「映像酔い」という言葉は一部の書き込みの中で使用されている。

と記載：1件」したのもあった。

以上、若干の複数該当項目を含むものがあったため、合計は53件となった。

4. 感想

日記を公開している人、見た映画やDVDの感想や背景データをデータベース的に残している人、が世の中には多くいるものである、というのが率直な感想である。プライバシーに属するようなことが記載されていることもあり、ファイルにコピーする際に注意した部分もあるが、一般に公開され検索エンジンでリストアップされる内容でもあるので、データとして使用させていただいて問題はないものと思う。しかし、そのおかげで、「映像酔い」という言葉が、我々研究者が使う場合よりもはるかに多くネット上で使用されていることが推測された。中には別の症状を説明するのに、〈映像酔いのような症状〉と書く場合があることから、この語は説明抜きで使用しても十分に認知されていることがうかがえた。

票の集まった映画2作品は、すでに一部で映像酔いを起こしやすいという評判が立っていたことがうかがえる。しかし、映画50作品程度の個人的感想を羅列したページでもこの作品のみで酔ったと記載されていることから、他作品よりは圧倒的に酔いやすい映像であったこともうかがえる。特にブレアウイッチプロジェクトは、しろうと映像風(あるいはドキュメント風)に見せかけることも計算された映像であり、故意に画質を粗く、手ぶれをひどくしている。この企図に対して多くは好意的でない。ただし、今回

の検索法ではそういう評価が網に引っ掛かりやすかったとも考えられる。それに対して、ダンサーインザダークの方は映画の内容が好意的に扱われており、酔いやすいことが残念であったと思われるようだ。全般に、酔いの有無は作品の評価には直接つながらず、したがって、酔いを引き起こす映像手法を避けることによってより多くの人に楽しんでもらえるようになるはずだ。

一般に、カメラのぶれ、特に手ぶれのある映像が映像酔いの最大の原因と考えられているようである。上記映画2作品も、手ぶれが多いため、映像酔いを起こしやすいという印象を最初に視聴者に与えてしまっているようだ。これに対してテーマパークのアトラクションでは大画面によるベクションなどが影響していると思われる。

自分が映像酔いを起こしやすいと自覚している人がいることもわかった。6件という数が多いと見るか、少ないと見るか、母数があまいなこのような手法では全く評価できないが、まれな症状でないことはうかがえよう。中には、高校生まで平気だったが大人になってだめになった、と自己分析しているケースもある。

5. むすび

今回の分析を通して、映像酔いという問題は思った以上に広く存在していることがうかがえた。症状や頻度の定量化という大きな問題があるが、映像の持つ社会性、普遍性の重要性を念頭に、視覚研究の応用課題として早急に研究を進めることが、必要であると確認できた。